

3 単元構造図(全5時間) ☆基礎的・基本的な知識, 概念や技能

江戸幕府の成立と 対外政策

単元学習前の生徒の認識 ヨーロッパ人によってもたらされた鉄砲やキリスト教の影響を受けながら、織田信長、豊臣秀吉による統一事業によって、全国統一が成立した。秀吉の死後、支配体制や産業、諸外国との関わりはどのように変わっていったのだろう。

第1時 江戸幕府の成立と支配の仕組み (態度)

江戸幕府は、どのように全国を支配していったのだろう。

☆関ヶ原の戦い☆江戸幕府☆江戸時代☆幕領☆五街道☆藩☆武家諸法度☆徳川家光☆参勤交代☆江戸幕府の支配のしくみ

江戸幕府は武家諸法度をもとに、参勤交代を制度化するなどの政策で大名に対して強い支配体制を作り上げようとした。朝廷に対しても、監視することで政治的な力を持たせないようにした。他にもどんな政策を行って支配をしていたのだろう。

260年以上も続く江戸幕府は、どうやって成立し、人々をどのように支配していたのだろう。

第2時 さまざまな身分と暮らし (思・判・表)

江戸幕府はどのように人々を支配したのだろう。

☆武士☆百姓☆町人☆名主☆本百姓☆水のみ百姓☆武士道☆年貢☆五人組☆村八分

支配身分である武士が政治を行い、軍事的な役割を果たした。百姓が全人口の85%を占め、中でも本百姓と水のみ百姓とに分けられた。幕府は安定的に年貢を納めさせるために五人組という連帯責任を負わせ、厳しく支配した。厳しい支配体制の中でも不満が噴出しないうえに、いんへの身分を作り、不満のはけ口にした。

第3時 貿易の振興から鎖国へ (知・技)

江戸幕府の対外政策はどのように変化していったのだろう。

☆朱印状☆朱印船貿易☆日本人町☆平戸☆出島☆島原・天草一揆☆鎖国☆絵踏み

幕府は、当初貿易を黙認していたが、キリスト教の教えが幕府の考えに反することから制限を加えていった。そして、1637年の島原・天草一揆を受けてポルトガル船の来航を禁止したことで、鎖国政策が進んでいった。民衆にもキリスト教徒でないことを証明させるために、絵踏みを行った。

第4時 鎖国下の対外関係 (知・技)

江戸時代の日本は、世界とどのように結ばれていたのだろう。

☆清☆オランダ風説書☆唐船風説書☆朝鮮通信使☆対馬藩

幕府は、鎖国政策によって海外との貿易を制限していたが、清、朝鮮、オランダとは交流があった。ヨーロッパやアジアの情勢を文書にまとめて風説書として提出させることで、幕府は海外の様子を独占し、支配体制がゆるがぬようにしていた。

第5時 琉球王国やアイヌ民族との関係 (知・技) (思・判・表) (態度)

江戸幕府は、琉球王国やアイヌ民族とどのような関係を持ったのだろう。

☆薩摩藩☆琉球王国☆朝貢貿易☆中継貿易☆琉球使節☆蝦夷地☆アイヌ民族☆松前藩☆和人☆シャクシャイン

幕府は、薩摩藩に琉球王国の支配を、松前藩に蝦夷地との交流の独占を認めた。薩摩藩は、琉球王国の中継貿易を管理かに置いて大きな利益を得たり、琉球王国の代わりがあると琉球使節を江戸へと連れていったりした。松前藩の藩主や家臣がアイヌ民族と不公平な取引を行ったことで、アイヌ民族の指導者の一人シャクシャインを中心とした松前藩との戦いをおこしたが破れてしまい、アイヌの人々への経済的な支配はさらに厳しくなった。

単元学習後の生徒の認識 江戸幕府は、大名に対して、武家諸法度で参勤交代や配置換えなど、厳しく支配をしていた。また、人々への支配も武士を頂点とする身分制度をつくり、それぞれの身分に生活の規則を設けるなど、反乱をおさえるために、様々な支配の方法をとった。結果、江戸幕府は約260年以上も支配を続けることができた。また、島原・天草一揆もあり、外交関係も厳しく制限した。1639年にポルトガル船の来航を禁止したことで鎖国が完成したが、オランダ、中国、朝鮮とは出島に限って貿易を行っていた。松前藩や薩摩藩をつかひ、蝦夷地や琉球王国を支配した。